










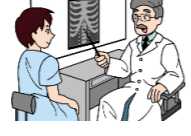




診療計画説明書

腹部大動脈人工血管置換術

退院基準	合併症の症状・所見がない												
月日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
経過	入院	手術前日	手術当日 術前	術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7～11日目	術後12～13日目	術後14日目
達成目標	身体的準備ができている	身体的準備ができている 手術について理解できる		合併症の症状・所見がない 麻酔から覚醒する チューブに問題がない 安静が守られている	合併症の症状・所見がない 座位ができる	合併症の症状・所見がない 立位ができる	合併症の症状・所見がない ADLの範囲の拡大ができる					合併症の症状・所見がない 日常生活の注意点について理解できる ADLの範囲が拡大できる	
処置		点滴の針を入れます	除毛をします	酸素マスクをします 麻酔の管、動脈の管、胃管、お腹の管(ドレーン)が入っています	鼻のチューブの酸素にします お腹の管を抜きます	消毒処置を行います 鼻からの酸素を減らしていきます 動脈の管を抜きます	点滴・消毒処置を行います 背中から入った麻酔の管を抜きます	適宜消毒処置を行います お腹の状態が良ければ胃管を抜きます		抜糸をします			
検査	外来にて手術前の検査・自己血の貯血などをします CT・レントゲン・血液検査など足りない検査があれば行います			術後の採血をします	採血・レントゲン撮影をします 動脈の酸素濃度を測ります		採血・レントゲン撮影をします 				腹部CTを撮ります	検査に異常がなければ退院です	
内服薬	内服薬・中止薬の確認をします 下剤を飲みます	下剤を飲みます	手術当日の内服は指示に従ってください		痛み止めは注射薬・座薬・内服薬を随時使います 								
注射薬		午後より点滴をします	点滴をします	点滴をします	点滴はご飯が始まれば徐々に減ります 								
安静度	病院内(状態に応じて病棟内)		朝から手術までは病棟内	ベット上安静です	座位になれます	立つ練習をします 軽い歩行もできます	積極的に歩行を開始します(病棟内) 						
食事	一般食(必要な方は治療食となります)	昼から絶食です 飲水はできます	絶飲食です 	お腹が動くようになれば飲水できます			お腹が動いておならが出るようになり、お水をのんでも気持ち悪くならないとおもゆからご飯を開始します		徐々にふつうのご飯になります				
清潔	シャワー浴が可能です			体拭きをします		洗髪可能です	抜糸が終わればシャワーができるようになります 						
排泄	トイレに行けます		浣腸をします	手術室で尿管を入れます	尿管が入っています 排泄はベット上です 	尿管を抜きます 離床できればトイレに行けます	特に制限はなくなります 						
説明・同意	手術説明を行います 主治医と時間を相談します 麻酔科・集中治療室・手術室の担当者から診察、説明があります 		手術後の説明があります	ご不明な点は主治医、看護師にお尋ねください 								退院後の生活で気をつけることや次回の受診日等について説明があります 	

病名は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得ます
入院期間や治療内容は現時点で予想できるもので、症状により変わります